

令和5年度 発達支援相談事業経過報告

(令和5年12月末時点)

※R4年度実績数はR4年12月末時点

1. 早期発見、早期フォロー支援体制の継続

◎5つの専門相談

発達相談(心理士による相談)・OT相談(作業療法士による相談)・ことばの相談(言語聴覚士による相談)・発達クリニック及び発達支援クリニック(小児科医による相談)を実施。
就学後のケース数は昨年度と同様程度の割合で、引き続き就学後の支援も充実している(表2)。
発達相談は、今年度も心理士2名体制で実施。4月に乳幼児健診の発達検査項目に変更があり、就学前のケースはやや減っているが、小中学生の検査依頼が増加しており、概ね昨年度並みの件数となっている(表3)。

◎遊びの教室(小集団親子教室)

前期・後期とも全11回の開催予定で、12月末までに後期の6回目まで実施。
4月は3名でスタートし、現在は登録者11名で運営中。
12月までに3名が遊びの教室から療育につながっている。

◎のびのび教室(保護者が子どもの行動の見方を学ぶプログラム:ペアレントトレーニング)

発達支援相談利用者や療育利用者に案内し実施中。2つのグループと個別実施で、計7名の参加があった。受講後のフォロー会は5名が参加。
また、親子の愛着関係に課題を感じるケースがあるため、「安心感の輪 子育てプログラム」を導入し、今年度より実施している。現在4名に実施中。

◎母子保健事業との連携

乳幼児健診を中心に連携を実施。各相談・遊びの教室・園巡回相談・専門機関への連携等、保健医療課と協力しながら早期発見・早期支援を実施している。

(表1) 発達支援相談利用者数

年度	実人数			相談別人数											
	男子	女子	合計	発達相談		OT相談		言語相談		発達クリニック		発達支援クリニック		相談参加	
				実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
R4年度	188	89	277	161	198	198	282	47	79	5	8	9	9	420	575
R5年度	177	82	259	155	196	171	225	54	71	6	11	8	8	394	511

(表2) 年齢別相談実人数

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
R4年度	5	12	38	49	48	58	30	9	8	5	5	4	3	0	1	2	0	0	
(割合)	1.8%	4.3%	13.7%	17.7%	17.3%	20.9%	10.8%	3.2%	2.9%	1.8%	1.8%	1.4%	1.1%	0.0%	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	
	75.8%						24.2%												
R5年度	8	4	28	45	48	65	23	15	7	4	1	1	2	5	0	1	2	0	
(割合)	3.1%	1.5%	10.8%	17.4%	18.5%	25.1%	8.9%	5.8%	2.7%	1.5%	0.4%	0.4%	0.8%	1.9%	0.0%	0.4%	0.8%	0.0%	
	76.4%						23.6%												

(表3)相談経路別実人数

	経過者	保護者	健診	保健師	保・幼	学校	保健所	その他	健診				
									乳児 前期	乳児 後期	1.8 健診	2.5 健診	3.5 健診
R4年度	172	20	49	5	20	7	0	4	0	4	5	25	15
(割合)	62.1%	7.2%	17.7%	1.8%	7.2%	2.5%	0.0%	1.4%	0.0%	8.2%	10.2%	51.0%	30.6%
R5年度	156	28	44	3	21	2	0	5	0	8	1	16	19
(割合)	60.2%	10.8%	17.0%	1.2%	8.1%	0.8%	0.0%	1.9%	0.0%	18.2%	2.3%	36.4%	43.2%

(表4)発達支援相談の最終フォロー人数

	相談 継続	終了	
		医療紹介	終了
R4年度	183	41	53
(割合)	66.1%	14.8%	19.1%
R5年度	180	21	58
(割合)	69.5%	8.1%	22.4%

2. 児童発達支援事業の体制整備

関係機関と連携をとりながら、随時受け入れ体制の調整を行った。
 児童発達支援事業とこども発達・療育支援輸送事業についてはつくし園より報告(別紙資料参照)
 その他、別紙資料参照(つくし園より報告)
 花ノ木医療福祉センター委託による南丹市個別療育事業も2名の利用児があった(表5)。

(表5)花ノ木医療福祉センターでの個別児童発達支援事業の利用状況

	実	延	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
R4年度	2	56	0	0	2	0
R5年度	2	64	0	0	0	2

3. 保育所・幼稚園支援の継続

園巡回では、まだ相談事業につながっていないケースが主に対象児として挙がっている。
 ミーティングでは、その後のフォローについても検討され、場合によっては相談事業を紹介することもある。
 特に5歳児は、就学後を見据えて相談事業につながるケースが多い(表6)。

(表6)園巡回相談数

	園部		八木		日吉		美山		合計	
	園数(延)	児延数								
R4年度	18	89	5	25	7	24	4	17	34	155
R5年度	17	61	6	29	4	14	2	16	29	120

4. 就学後支援の継続

放課後児童クラブ・学校巡回、検査結果連携を実施。夏休みに小学生の相談が多数あり、その相談をまとめて学校連携する機会を設けた。ケース会議や教育支援委員会等に参加するなど、関係機関の事業を通して間接的に関わることも増えている(表7)。

(表7)就学後支援数 (新小学校・中学校入学児童以外)

	合計	
	巡回数(延)	児童数(延)
R4年度	10	26
R5年度	17	51

5. 移行期支援の継続

発達支援センターの事業を利用している児童について、入園・入学時の移行期に保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等と、情報連携や参観・訪問を行った(表8)。

(表8)新入生連携数 (個別相談後の新小学校・中学校入学児童ケース連携・参観:小学校及び放課後児童クラブ)

	合計	
	巡回数(延)	児童数(延)
R4年度	34	203
R5年度	35	214

6. その他(研修講師の実施等)

今年度は希望のあった全ての市立保育所・幼稚園でスキルアップ講習会を実施。スキルアップ講習会では、相談事業や園巡回のミーティングに参加する機会の少ない加配保育士や若手保育士が、日頃の保育で感じる悩みを共有し、保育士同士や専門職を交えて意見交換できる機会となっている(表9)。

(表9)研修講師の内容

6月	16日:のぞみ園親子ふれあい遊び、29日:八木中央スキルアップ講習会
7月	7日:みやまこども園スキルアップ講習会、13日:園部保育所スキルアップ講習会 31日:城南保育所スキルアップ講習会
8月	24日:胡麻保育所スキルアップ講習会
9月	7日:園部保育所1歳児親子参観、14日:園部幼稚園スキルアップ講習会 26日:八木東幼児学園スキルアップ講習会
10月	13日:ファミサポ講師、27日:ひよしこども園5歳児親子参観
11月	14日:園部小学校親子道徳、城南保0, 1歳児保護者会 21日:ひよしこども園3, 4歳児親子参観、28日:ひよしこども園1, 2歳児親子参観

花ノ木医療福祉センター実務研修に心理士1名が参加。